

トヨタ、マツダの提携について

蟬本 睦

<トヨタ、マツダが新工場を含む業務資本提携を発表>

トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）とマツダ株式会社（以下、マツダ）は、8月4日、業務資本提携に関する合意書を締結したと発表しました。米国で最も注目されたのは、米国において、両社により、新工場を建設するという内容でした。

<新工場はどの州へ？>

まず、ニューヨークタイムズ紙は8月4日、東京発にて、「トヨタがマツダ株の5%を買う、米国に新工場を建設」と速報しました。「工場予定地は未定だが、トヨタとマツダは2021年に生産ラインから第一号車を送り出す予定。新工場では16億ドルの投資と4,000人の雇用を見込む」と両社の発表を報じました。また、ワシントンポスト紙、シカゴトリビューン紙も「トヨタ、マツダ 16億ドルの米国工場の計画、EVでパートナーシップ」とほぼ同じタイトルで報じたほか、ロサンゼルスタイムズ紙も「トヨタ、マツダ 16億ドルの米国工場計画、4,000人の雇用創出」と同様に報じました。

日本の報道を見てみると、トヨタとマツダの提携は魅力的なクルマ作りやEVなどの新分野における提携の意義や、協業によりどのような付加価値を両社が作っていくかということに重点があるように思いましたが、新工場を受け入れる米国にとっては、投資額の大きさと、雇用人数の大きさに注目が集まっています。

米国らしいなと感じるのは、雇用する人数に着目しているところではないでしょうか。米国において各州の経済開発はいかに雇用を創出するか、ということに重きが置かれており、日本の都道府県に比べて、米国の州に多くの権限があることから、各州は独自の優遇措置を大規模な投資を行う企業にオファーし、各州が綱引きを行うことが特徴的です。

そこで、ロイター通信は「トヨタ、マツダ、米国の各州にリッチな賞金をかけた競争への招待」と今後起こるであろう、各州の綱引きを解説しました。ロイターは同記事で「中西部と南部の誘致合戦の火蓋が切られた」と「WAR」という言葉で、これから起こる各州の激しい誘致合戦を「戦い」になぞえて報じました。

<トランプ大統領が歓迎ツイート>

日本でも報道されたと思いますが、トランプ大統領はトヨタ、マツダの発表を受けて「トヨタ&マツダのUSAにおける16億ドルの工場新設、4,000人の米国人の雇用。アメリカの製造業に対する素晴らしい投資だ」と歓迎のコメントを、短文投稿サイト、ツイッターにて投稿しました。

**Donald J. Trump**

@realDonaldTrump

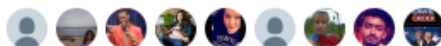
Follow



Toyota & Mazda to build a new \$1.6B plant here in the U.S.A. and create 4K new American jobs. A great investment in American manufacturing!

3:02 AM - 4 Aug 2017

26,140 Retweets 117,763 Likes



11K

26K

118K



トヨタが以前、メキシコに工場を作るという発表を行った際にトランプ大統領が行った批判的な投稿と対照的であることから米国のメディアもこれを一斉に報じました。

ちなみに、ビッグスリーの本拠地であり伝統的に自動車の街であるデトロイトを有する中西部から、比較的組合活動などがゆるやかで、州も誘致に積極的で人材が豊富と称される南東部、南部へ自動車産業の集積が緩やかに移行しています。トヨタはケンタッキー州、日産はテネシー州に全米最大の拠点を設けて久しいですが、新工場がどこになるか、筆者も注目したいところです。

<日本とは異なるディーラー網>

さて、全国紙の報道ぶりや大統領の発言とちょっと話が大きくなりましたので、身近な話題を一つ。日本では、トヨタならトヨタ、マツダならマツダの車のみ販売することが多いと思いますが、こちらでは少し事情が異なります。おそらく直営店が多いであろうレクサス、トヨタ、ホンダなどはそれぞれのブランドのみが扱われていますが、マツダやスバルといったブランドになると、独立系のディーラーが扱うことが多く、一緒に売られていたりします。筆者が最近車を買った販売店ではマツダの他に、スバル、フォードが併売されています。ショールームもきっちり3つに分かれていて、併設のサービス工場は共有となりますが、あまり日本では見かけない業態かと思います。

さて、今週はトヨタとマツダにまつわるトピックスをお届けしました。今回のトヨタとの提携を追い風にマツダにも一層のアメリカ市場での健闘を祈りたいと思います。また、マツダの新工場建設に伴い、広島のマツダ関連企業もアメリカ進出を検討される動きが新たに出てくるかもしれません。筆者も引き続き新工場建設の行方を追って参りたいと思います。